

意見・提言概要一覧表

まちづくりレポートに関して

(1) 取組実績の記述に関して知りたい点

項番	件名	内 容	プログラム	回 答																																			
1	漁業への取組	漁業振興への取組について。 特に、地産地消の観点から、道の駅における魚の販売等への取組について	1-3 海に開くまちづくりプログラム	漁業を取り巻く環境は悪化しており、併せて漁業従事者の高齢化と後継者不足が大きな問題となっております。 このことから、本市においては各漁協（河芸、白塚、津市、香良洲）が「つくり、育て、とる漁業」を推進するために実施する種苗放流への支援、作業の軽減や後継者対策として実施する近代化に対する支援等を実施しています。 道の駅における魚の販売等への取組については、建設予定地が、河芸地域であることから、河芸・白塚の水産加工業の代表の方々に「河芸道の駅運営法人設立準備会」への参画をいただくべく、協議を進めているところであり、これらを通じて津市水産物の地産地消を図っていきたいと考えております。																																			
2	シティマラソンへの取組	津シティマラソンでは、最長が10kmのコースとなっている。 ハーフマラソン、フルマラソンへの要望が多いが、その取組について	1-6 健康とスポーツの振興プログラム	津シティマラソンについては、津市のスポーツイベントとしてスポーツの更なる振興と市民の健康増進を図ることを目的として毎年開催しており、市民総参加型の大会として津市体育協会等による津シティマラソン実行委員会において運営されております。 開催種目につきましては、10km、5km、2km、ジョギングの4種目で開催されているのが現状であり、これまでに津市議会の一般質問等でもハーフマラソン等の実施について検討してはどうかといった御意見も頂戴しております。 本大会への参加者は市内を始め、県内外から多くの御参加をいただいておりますことから、参加者皆様に満足していただけるようなハーフマラソン等の実施に向けて、津シティマラソン実行委員会等で協議していきたいと考えております。																																			
3	幼保一体化への取組	国が、幼保一体化（こども園）を推進しているが、津市における取組について	2-3 若者定住プログラム	近年の経済状況や社会情勢の変化等により、保育所の需要が増し、幼稚園の需要が減ってきているという全国的な傾向は、津市においても同じような傾向にあります。しかしながら、幼稚園・保育所の一体化につきましては、施設拡充のための財源確保が困難であることや、幼稚園と保育所の保育料の調整、公立私立の共存のための運営の在り方など、様々な課題があることから、なかなか進捗しにくい状況で、それらの課題整理をすすめているところです。 現在、津市にある幼保一体化施設では、幼稚園と保育所が合同保育を行ったり、共通カリキュラムの作成に取り組んだりしながら、幼稚園と保育所の望ましい運営の在り方について、検討を続けております。 国の方では、幼稚園・保育所の一元化について、平成23年度に通常国会への法案提出、平成25年度の施行を目指していることから、津市としても国の動向を注意深く見つけながら、既存の幼保一体化施設での実践研究結果を踏まえた上で、検討を進めていきたいと考えています。																																			
4	健康づくりに関して	健康づくりに関して、まちづくりレポートでは、事業実施状況については記載されているが、その効果を検討するための実績（特に数値での指標）の記載が不十分。 具体的に数値で示せる実績を提示してほしい。	1-6 健康とスポーツの振興プログラム 2-1 住みやすさ向上プログラム	<p>○地域 ICT を利用した子育て支援システムの利用実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>目標値</th> <th>結果の数値</th> <th>計測方法・出展等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①子育て支援登録者数 (団体、関係機関を含む)</td> <td>2,000</td> <td>594</td> <td>ポータルサイトのリンク団体、 ブログ開設団体数</td> </tr> <tr> <td>②コミュニティ数</td> <td>30</td> <td>32</td> <td>SNS開設コミュニティ数</td> </tr> <tr> <td>③団体間の協働取組み件数</td> <td>25</td> <td>4</td> <td>ホームページ、テレビ会議、テレビ電話の 各システムと連動したアンケート調査</td> </tr> <tr> <td>④元気っ津 Plus (SNS) 利用者数</td> <td>500</td> <td>203</td> <td>SNS登録者数 本の玉手箱 (SNS) から発展</td> </tr> </tbody> </table> <p>○途切れない支援とは 幼児期の健診に関わる保健センター、保育園・幼稚園、小学校へと子どもの関わる機関が代わる時に、子どもの行動などの傾向、保護者の抱える不安などを理解した支援が途切れることがないように、子どもの成長に応じて、関係機関が緊密に連携し、支援のつながりをつくることです。 これは、市の機関だけでなく、地域の民生委員・児童委員、子育て支援団体等の活動、子育て支援センターなどとの連携も強化し、子どもの成長に応じて、子育てに関わる機会を増やし、児童虐待の予防、発達支援、子育ての不安解消などの支援の連続性を充実していく取組みです。</p> <p>○特定健康診査受診者数・特定保健指導申込数 ＜特定健康診査＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>受診券送付数</th> <th>受診数</th> <th>受診率</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成20年度</td> <td>51,880</td> <td>14,615</td> <td>28.2%</td> <td>平成21年7月7日現在</td> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>52,594</td> <td>15,484</td> <td>29.4%</td> <td>平成22年5月6日現在</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	目標値	結果の数値	計測方法・出展等	①子育て支援登録者数 (団体、関係機関を含む)	2,000	594	ポータルサイトのリンク団体、 ブログ開設団体数	②コミュニティ数	30	32	SNS開設コミュニティ数	③団体間の協働取組み件数	25	4	ホームページ、テレビ会議、テレビ電話の 各システムと連動したアンケート調査	④元気っ津 Plus (SNS) 利用者数	500	203	SNS登録者数 本の玉手箱 (SNS) から発展		受診券送付数	受診数	受診率		平成20年度	51,880	14,615	28.2%	平成21年7月7日現在	平成21年度	52,594	15,484	29.4%	平成22年5月6日現在
指 標	目標値	結果の数値	計測方法・出展等																																				
①子育て支援登録者数 (団体、関係機関を含む)	2,000	594	ポータルサイトのリンク団体、 ブログ開設団体数																																				
②コミュニティ数	30	32	SNS開設コミュニティ数																																				
③団体間の協働取組み件数	25	4	ホームページ、テレビ会議、テレビ電話の 各システムと連動したアンケート調査																																				
④元気っ津 Plus (SNS) 利用者数	500	203	SNS登録者数 本の玉手箱 (SNS) から発展																																				
	受診券送付数	受診数	受診率																																				
平成20年度	51,880	14,615	28.2%	平成21年7月7日現在																																			
平成21年度	52,594	15,484	29.4%	平成22年5月6日現在																																			

				<p>&lt;特定保健指導&gt;  <b>【積極的支援】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>利用権送付数</th> <th>申込数</th> <th>申込率</th> <th>終了者数</th> <th>脱落数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 20 年度</td> <td>352</td> <td>28</td> <td>8.0%</td> <td>23</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>平成 21 年度</td> <td>421</td> <td>51</td> <td>12.1%</td> <td></td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【動機づけ支援】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>利用権送付数</th> <th>申込数</th> <th>申込率</th> <th>終了者数</th> <th>脱落数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 20 年度</td> <td>1,370</td> <td>113</td> <td>8.2%</td> <td>104</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>平成 21 年度</td> <td>1,383</td> <td>229</td> <td>16.6%</td> <td></td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>○健康づくりに関する取組について</b>  平成19年3月に策定した健康づくり計画に沿って進めているところです。計画では「こころ豊かに楽しく元気に暮らそう」を大目標とし、「元気に暮らそう」「こころ豊かに暮らそう」「みんなで楽しく健康づくり」の3つの中目標とし、「食生活・栄養」「運動」「たばこ」「アルコール」「歯」「生活習慣・がん」「休養・こころ」「仲間づくり」の8つの小目標を設定しました。このうち、運動に関しては、「楽しく運動しよう」を目標に掲げて、身近な運動の一つとして“ウォーキング”をおすすめしています。  平成19年度に作成した「ぐるっとマップ」は、身近な地域でウォーキングをはじめのきっかけづくりであり、健康づくり推進員さんたちと一緒にルートを検証し、10の保健センターごとに2,000枚ずつ作成しました。保健センターはもとより、各総合支所、健康づくり推進員さんを通して活用し、平成20年度には、それぞれ2000枚を増刷し、ホームページにアップし、いつでも閲覧、プリントアウトしていただけるようにしました。  ウォーキングの普及状況は、把握困難ですが、平成20年度に実施された、市政アンケートの中で、日頃の運動の状況を聞いています。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>問42 あなたは、運動（ウォーキング・ジョギング・水泳・ゴルフ・テニス・野球など）をしていますか。  【いずれか一つに○】</p> </div> <p>全体では、ほとんど毎日している（11.5%）、週に3～4回している（10.4%）、週に1～2回している（20.7%）、ほとんど運動していない（51.6%）であり、週1回以上運動している人は、42.6%でした。県民健康意識調査(平成16年度)50.6%であったことから、8ポイントも低下していることとなります。  今年度の市政アンケートに、ウォーキングの有無を聞く項目を追加しております。</p>		利用権送付数	申込数	申込率	終了者数	脱落数	平成 20 年度	352	28	8.0%	23	5	平成 21 年度	421	51	12.1%		2		利用権送付数	申込数	申込率	終了者数	脱落数	平成 20 年度	1,370	113	8.2%	104	9	平成 21 年度	1,383	229	16.6%		5
	利用権送付数	申込数	申込率	終了者数	脱落数																																			
平成 20 年度	352	28	8.0%	23	5																																			
平成 21 年度	421	51	12.1%		2																																			
	利用権送付数	申込数	申込率	終了者数	脱落数																																			
平成 20 年度	1,370	113	8.2%	104	9																																			
平成 21 年度	1,383	229	16.6%		5																																			
5	新雲出川物語推進委員会について	市民団体である新雲出川物語推進委員会の今後の活動予定について。	1-2 自然の恵みの価値創造プログラム	山・川・海ネットワーク事業は、平成20年3月に策定された環境基本計画において、環境像として、「山、川、海、人が共生する元気なまち 津」、環境目標として、「人とひと、人と自然のつながりのあるまち 津」、施策の分野として「自然の保全」、施策として「山、川、海の一体化した環境施策の推進」、具体の施策として「山と川と海のネットワーク事業」として位置づけられた事業です。 新雲出川物語推進委員会は、平成20年9月に雲出川の水環境を守り、自然景観を保全すると共に、山、川、海をつなぐネットワークを構築して、雲出川流域の地域振興を図ることを目的として設立された団体で、その構成員は、森林組合、漁業協同組合、農事組合、環境活動団体等です。 これまでの取り組み内容としては、毎年つ・環境フェアに参加すると共に、 平成20年度：①山川海ネットワークの森造成事業②海岸パトロール③浜辺交流事業を実施しました。 平成21年度：①山川海ネットワークの森下草刈り②雲出川・家城ラインエコウォーク③浜辺学習会 平成22年度：①山川海ネットワークの森交流会②香良洲海岸清掃&地引網体験③山川海ネットワークの森下草刈り④浜辺学習会（予定） 今後におきましても、山、川、海をキーワードとし、雲出川の上流から下流において各地域の交流事業等を引き続き実施することにより山と川と海のネットワークづくりを推進していきます。 具体的な取組みといたしましては、これまでから取組みをいたしております、雲出川の水の流れに対応した環境保全活動として、山川海ネットワークの森づくり、川岸・海岸の清掃活動、海岸パトロール、地域資源（景観・産物・文化等）を活用したイベント開催を継続して実施いたします。 雲出川環境保全の啓発として、環境フェアへの参加を引き続き行うとともに、名古屋で開催されるCOP10への参加など、国・県等の関係する事業についても参加し、雲出川の環境保全の啓発に取り組んでいきます。 雲出川流域の子どもたちの交流を通じて山・川・海の自然を学習し、子どもたちの環境保全の意識啓発を行ってまいります。 また、雲出川清掃イベントや、メディアを活用し雲出川をアピールしていきたいと考えております。																																				

(2) 取組に対する意見・提言

項番	件名	内 容	回 答
6	スポーツ施設の整備について	本市のスポーツ施設全体の整備については、津市スポーツ施設整備基本構想を策定し、着実な取り組みを進めていただいているところですが、特に総合的な屋内スポーツ施設については、整備基本構想で平成 27 年度完成を目指すとしていることから、総合計画においても具体的な目標を掲げ、取り組みを進められることを要望します。	<p>津市のスポーツ施設につきましては、64施設と数が多いものの、施設面や利用面で多くの課題がありますことから、本年5月に「津市スポーツ施設整備基本構想」を策定し、施設の統廃合や改修、新たな施設の整備等について取りまとめております。</p> <p>特に大規模な大会等の開催が可能な規模の大きい施設が少ないことから、体育館等の新たな総合的な屋内スポーツ施設や、サッカー、テニス等の屋外スポーツ施設や日常的な市民の健康増進、レクリエーション等のスポーツ施設整備を進めようとするものです。</p> <p>今年度におきましては、津市屋内スポーツ施設基本計画の策定を予定しており、8月24日には津市屋内スポーツ施設基本計画策定委員会を立ち上げ、多方面から幅広く意見等をいただきながら、本市の中心的なスポーツ施設となる総合的な屋内スポーツ施設の整備につきまして、御検討いただいたところであります。</p> <p>本年度末には、計画案を作成のうえ広く市民の皆様の御意見をいただいて参りたいと思っております。</p>

会議の進め方について

項番	件名	内 容	回 答
7	会議の進め方について	本審議会は委員が30名に上るため、いくつかのグループ(テーマ別)に分け、参加している委員の皆さんが満足行くように少人数にして、議論することを提案します。振り分けたテーマの中で各自検討したい物を選択し議論し合いたいと思います。	会議の進め方について、本審議会が30名に上ることから、より深い討議をするために、いくつかのグループに分かれて議論することについての御提案をいただいております。 御意見にもありますように、全体会議においては、議論すべきテーマの絞り込みや最終的な意見のとりまとめを行い、発言の機会を増やす意味からも、個々の課題等については分科会を設置し、より深い議論をしていくのも、ひとつの方法かと存じます。 どのように進めるかについては、後ほど、会長を中心に御協議いただきたいと存じますが、そのような方向で進めてまいりたいと思います。
8	資料の活用方法及び論点について	基礎資料であるまちづくりレポートについて、全体会議の場では、細部にわたり検討するのではなく、全体に共通する意見を集め、議論することを提案します。 また、三重大学大学院人文社会科学研究所が発行している地域交流誌「TRIO」の11号で、合併後の津市に関する研究報告が掲載されており、これに関連する施策についても議論していきたいと思います。	また、お手元に資料2といたしまして、三重大学大学院人文社会科学研究所が発行している地域交流誌「TRIO」11号の、合併後の津市に関する研究報告部分をお配りいたしております。 今後の御審議の参考としていただければと考えております。
9	会議の進め方について	全体会議も大切ですが、より深い討議をするために4回のうち1回は、プログラムごとの専門的なグループワークを計画してほしい。	
10	中間見直し及び会議の進め方	総合計画審議会と地域審議会の連携を図るため、見直しに係る作業及びスケジュールを明確にしてほしい。	総合計画前期基本計画の中間見直しについては、まちづくりを戦略的かつ重点的に推進していくために編成いたしました重点プログラムを対象として、実施いたします。 本審議会においては、まちづくりレポートを基礎資料として、課題の抽出や内容の点検を行っていただき、その結果を踏まえ、答申を頂戴したいと考えております。 御質問のスケジュールにつきましては、前回会議で4回程度の審議会開催案をお示しいたしましたが、今回、会議の進め方について、グループ分けによる審議について御提案をいただいておりますことから、本審議会での御審議を踏まえ、より詳細なスケジュール案を作成して参りたいと存じます。
11	中間見直しの進め方	美杉地域は、現在、大変恵まれた取組みなどの事業展開をさせていただいておりますが、策定後2～3年で、課題が急激に進んだものもいくつかございますので、取組みの強化が必要なものがあるように感じます。 そこで、これらの事業を進めていく市職員、特に事務レベルの職員を含めた庁内体制の見直しを実施されるのか。	重点プログラムを始めとする総合計画に位置付けた様々な施策の推進に当たっては、それぞれの施策の関係所管により事業実施が不可欠であります。 地域かがやきプログラム・南部エリアについては、森林セラピー基地事業を始め、空家情報バンクなどの二地域居住の推進など、地域の方々との連携のもと、着実な事業推進を図っていただいております。 南部エリアは、他のエリアと違い、美杉地域のみで構成するエリアということもあり、他の総合支所との連携も難しい面もありますが、それぞれの地域の振興において、各地域の方々との協働した地域づくりの中心的役割を果たすのが総合支所であり、それを総合的に支援していくのが本庁の役割であると考えております。 このような点においては、未だ機能が十分でない点もあろうかと思いますが、御意見を踏まえ、地域審議会をお願いしております地域かがやきプログラムの進行管理及び評価、また、総合支所の職員の意見等も参考にさせていただき、今後、一層連携が図れますよう努めてまいりたいと考えております。  <b>(参考：行財政改革の観点)</b> 本年3月に策定しました「津市行財政改革中期実施計画」(平成22～24年度)においても、定員管理の適正化といたしまして、平成25年度の2,500人体制の実現を目指す一方で、総合支所の体制について、内部事務の本庁への集約化等により、市民窓口サービス、相談、防災及び地域振興に必要な機能の配置を基本とした職員配置の適正化を図ることとしております。

その他の御意見

項番	件名	内 容	回 答
12	重点プログラムの取組状況について	<p>まちづくりレポートに記載されている各事業について、それぞれの事業でPDCAサイクルがどのように活用されているのか。</p> <p>また、課題・検討項目も明確にして課題系統図で人・物・金でそれぞれのテーマを分析し、提示してほしい。</p>	<p>重点プログラム構成事業につきましては、総合計画策定から2年間にわたり、どのような事業を行ってきたかという政策評価を、庁内で実施しております。</p> <p>毎年、年度当初に、当該年度における取組目標を定め事業に取り組んでおり、秋には、中間点検といたしまして、各所属における評価を基に政策課とのヒアリングにより、課題等の整理を行っております。</p> <p>この中間点検を基に、年度後半に向けて事業を見直すと共に、大きな課題等については、次年度に反映することとしております。</p> <p>また、新年度となる春には、スプリングレビューを実施し、前年度の事業の実施状況等について検証を行った上、新年度の取組目標を策定します。</p> <p>なお、今般御審議いただきます前期基本計画の中間見直しについては、計画期間全体を通したPDCAサイクルの一環と考えておりますので、御理解いただきますよう、お願い申し上げます。</p>
13	地域資源活用産業の振興について	<p>現在、津市における「道の駅」の整備状況は、美杉地域の多気に1施設が設置されており、河芸地域において建設協議が進められているところです。</p> <p>地域資源活用産業の振興については、農商工連携事業の推進が喫緊の課題と認識しています。</p> <p>この対応策として、国道165号線とグリーンロードが交差する地域に、観光情報発信拠点・地域資源活用産品販売施設として、「道の駅」の設置に向けた協議を提案いたします。</p>	<p>道の駅の設置に向けた協議について、御提案いただいております。</p> <p>これにつきましては、貴重な御意見として、今後の検討課題とさせていただきます。</p>

## 重点プログラムの体系図と取組に対する質問・意見・提言

① まちづくり戦略プログラム	1-1 未来を拓く都市空間形成プログラム	新都心軸の形成 副都市核の整備 産業拠点を中心とした企業立地の促進と産業の高度化 広域交通ネットワークの形成	
	1-2 自然の恵みの価値創造プログラム	豊かな自然の恵みを次世代に引き継ぐための取組 森林セラピー基地の整備 山から海まで河川流域の一体的な取組	⑤
	1-3 海に開くまちづくりプログラム	津なぎさまちの整備 魅力ある津の海の世界環境整備 漁港等の整備	①
	1-4 持続可能な地域形成プログラム	森林・自然アカデミー事業の推進 市民版環境マネジメントシステムの普及促進とごみ減量化 新最終処分場の建設 津エコビレッジ（仮称）の形成促進	
	1-5 歴史と文化の拠点形成プログラム	一身田寺内町の町並み保全と活用 多気北畠氏城跡周辺地区の保全と活用 津城跡（お城公園）周辺地区の整備と活用 千歳山の保全と活用 文化芸術の拠点性の向上	
	1-6 健康とスポーツの振興プログラム	まち歩き（ウォーキング）による健康づくりの促進 地域特性を活かしたウォーキングコースの設定と全国規模の大会開催 健康づくりやスポーツ振興に取り組むための地域のネットワークづくり 総合的なスポーツ施設の整備	② ④ ⑥
② 元気づくりプログラム	2-1 住みやすさ向上プログラム	支え合いによる暮らしの安心づくり 市民主体の環境活動の推進 地域の消防防災力の向上	④
	2-2 元気な人づくりプログラム	地域連携センターの設置と地域貢献の推進 地域の学びの拠点づくり 津市ブンギ大学の活動促進	
	2-3 若者定住プログラム	魅力のある産業の育成と雇用の場づくり 子育てをしやすい環境づくり	③
	2-4 交流による活力創造プログラム	まち歩きシステムの整備 観光サービスの充実と広域連携の強化 交流人口100万人の創出をめざした取組	
	2-5 津らしさ実感プログラム	藤堂高虎公入府400年を契機とした文化のまちづくり 地域ブランドの確立 シティプロモーションの仕組みづくり	
③ 地域かがやきプログラム	3-1 東部エリア ～キラリと輝く人づくり・まちづくり～	知の拠点としての情報発信 地域を担う人づくり 地域連携による交流の促進	
	3-2 北部エリア ～都市や自然と共存するふれあいの里づくり～	スポーツ・レクリエーション活動の促進 地域産業振興の拠点づくり 自然と親しむ環境づくり	
	3-3 中部エリア ～“みのり”と“ぬくもり”の郷づくり～	温泉リフレッシュゾーンの魅力アップ 食のブランド化 地域力の維持、再構築	
	3-4 南部エリア ～健康で暮らせる自然と歴史の地域づくり～	健康で元気な人づくり 自然の恵みの価値創造 歴史と文化の拠点の整備	